



建防災発第20152号

令和3年1月26日

技術評価書

AP工法協会

会長 高橋 講暢 殿

令和2年5月21日付けで技術評価の更新及び変更の依頼のあった下記について、当協会に組織した建築物等防災技術評価委員会（委員長：壁谷澤寿海 東京大学名誉教授）において検討した結果、別紙技術評価報告書のとおり、耐震性の向上に有効な補強工法であると評価します。



一般財団法人日本建築防災協会

理事長 坂本 功



1. 件名

アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法（AP工法）

2. 技術評価事項

「アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法（AP工法）」の適用範囲、使用材料、補強設計方法、施工計画・品質管理方法、設計施工の責任体制の妥当性について

（2016年（平成28年）4月22日付技術評価（建防災発第16020号）の更新及び変更）

3. 評価書の有効期間

更新前：2020年（令和2年）6月3日まで

更新後：2025年（令和7年）6月3日まで（2021年（令和3年）1月26日から）

ただし、令和2年6月4日～令和3年1月25日までの期間については、更新及び変更の審査中であつたため、旧評価書を有効として扱う。